

# 京都府の河川・砂防事業について

京都府建設交通部  
平成29年8月10日

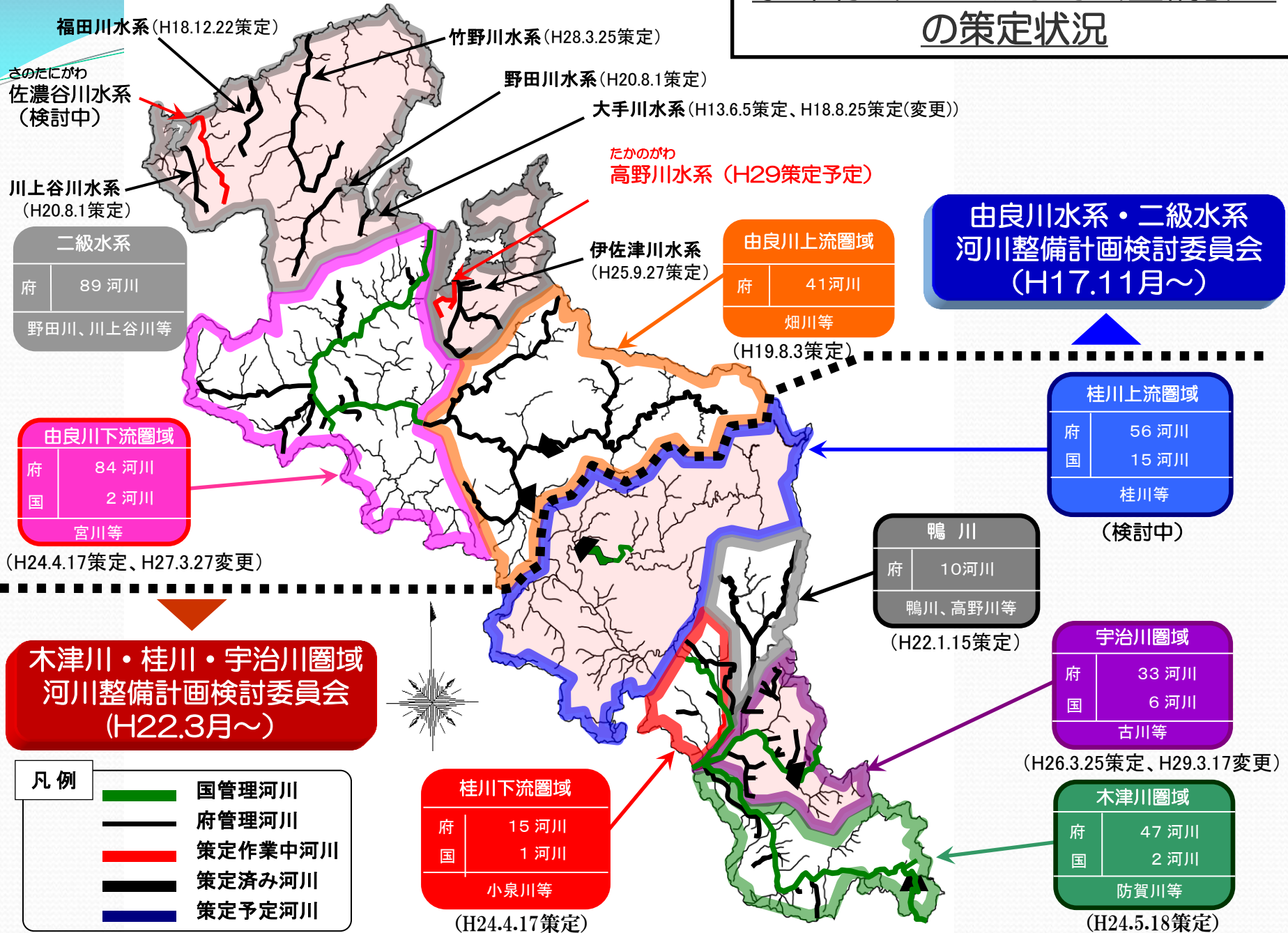
# 最近の水害の概要

- 京都府では、平成16年度から平成26年度までの概ね10年間で4度の大規模な水害が発生。
- 4度の水害は雨の降り方や被害発生メカニズムなどが異なり、それぞれに特徴がある浸水被害が発生。

	平成16年台風23号 (10/20~21)	平成24年 京都府南部豪雨 (8/13~14、17~18)	平成25年 台風18号 (9/15~16)	平成26年 8月豪雨 (8/15~17)
雨量等	総雨量385mm(宮津市) 時間最大51mm( " )	総雨量332mm(城陽市) 総雨量307mm(宇治市) 時間最大86mm(京田辺市、 精華町)	総雨量489mm(舞鶴市) ※府内51地点で300mm以上を記録 時間最大82mm(京丹後市)	総雨量358mm(綾部市) 総雨量346mm(福知山市) 時間最大62mm(福知山市)
被害状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・死者15名</li> <li>・全壊26、半壊328棟 一部損壊3,151棟</li> <li>・床上浸水2,726棟</li> <li>・床下浸水4,376棟</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・死者2名</li> <li>・全壊32、半壊169棟</li> <li>・床上浸水906棟</li> <li>・床下浸水2,378棟</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重傷者3名、軽傷者3名・ 全壊4棟、半壊441棟、 一部損壊217棟</li> <li>・床上浸水1,482棟</li> <li>・床下浸水3,326棟</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・死者2名、軽傷者1名</li> <li>・全壊14、半壊272棟 一部損壊17棟</li> <li>・床上浸水1,835棟</li> <li>・床下浸水2,716棟</li> </ul>
浸水被害が発生した河川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大手川、野田川、竹野川、 福田川、高野川</li> <li>・宮川、牧川 他 9河川</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弥陀次郎川(天井川)</li> <li>・古川、志津川</li> <li>他 6河川</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直轄由良川、桂川</li> <li>・安祥寺川、四宮川</li> <li>・鴨川、桂川、園部川</li> <li>・高野川 他12河川</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弘法川、法川、榎原川、 大谷川、八田川</li> </ul>
災害の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都府北部を中心に記録的大雨</li> <li>・直轄由良川とその支川</li> <li>・二級河川で浸水被害</li> <li>・土砂災害多数発生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都府南部で局地的な集中豪雨</li> <li>・宇治市、城陽市などの府管理河川等で浸水被害</li> <li>・天井川決壊で甚大な被害</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都府ほぼ全域で総雨量200mm超の大雨</li> <li>・直轄由良川、桂川とその支川で浸水被害</li> <li>・樋門閉鎖で内水被害</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・由良川本川水位が高いときに、福知山市街地周辺で集中豪雨</li> <li>・支川溢水や下水道、ポンプの排水能力を超えた内水による大規模浸水</li> </ul>



# 京都府域における河川整備計画の策定状況



# 京都府の河川整備（治水）

## 鴨川

- 下流の流下能力が低い築堤区間（桂川合流点～七条大橋約7.6km）において、概ね1/30で河道拡幅等の整備を実施。
- これまでに治水上ネックとなっていた龍門堰の一部と管理橋を撤去し、溢水区間にパラペットを設置するとともに、現在、河道拡幅等を実施。



# 京都府の河川整備(治水)

平成24年8月14日の豪雨により、京都府南部を中心に記録的な大雨となり、古川上流部の市街地において、床上浸水159戸、床下浸水387戸の甚大な被害が発生。そのため、床上浸水対策特別緊急事業により早期に洪水被害の軽減を図る。

位置図



【全体計画】

実施内容 : 掘削39.7千m<sup>3</sup>、護岸900m、床固工1箇所、橋梁改築8橋、用地買収7.6千m<sup>2</sup>、物件補償1式等

全体事業費 : 5,050百万円

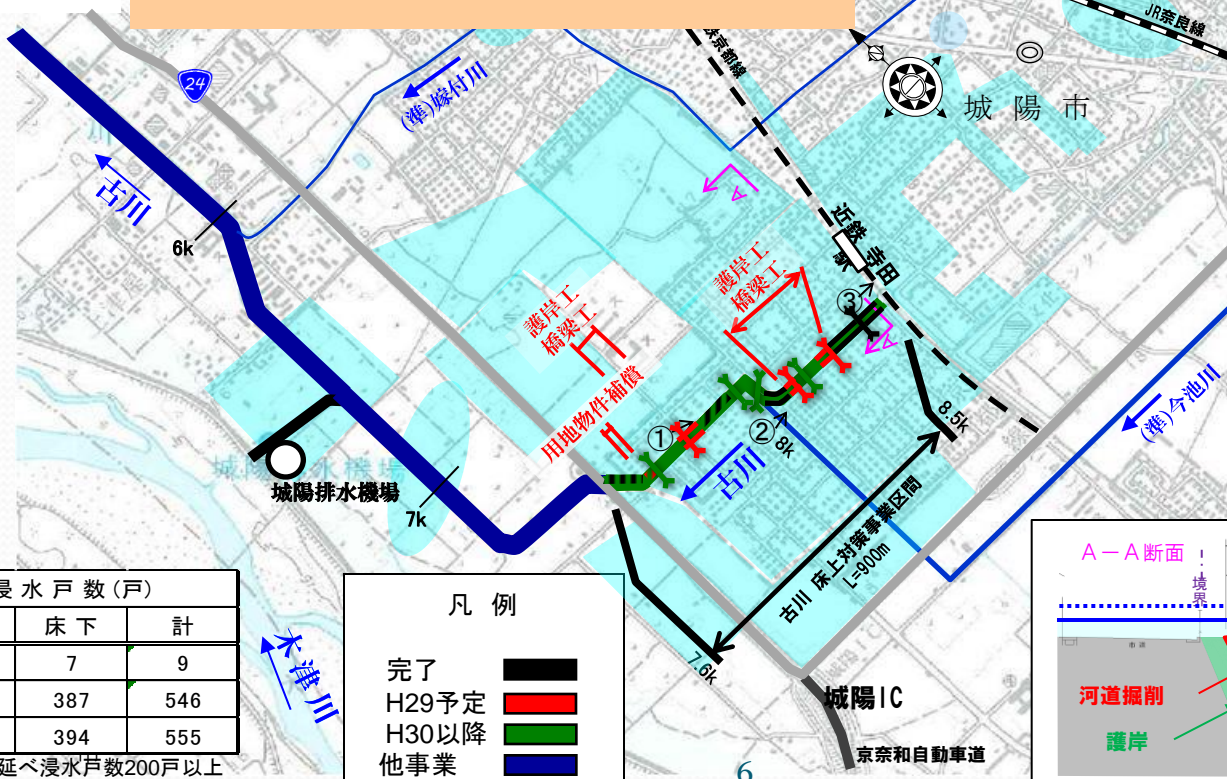
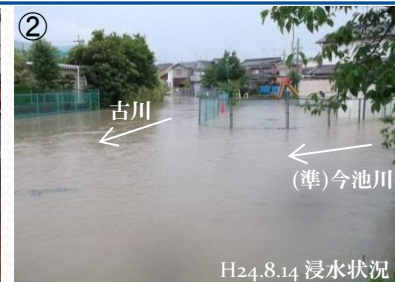
事業期間 : H26~H31

【平成28年度完了】

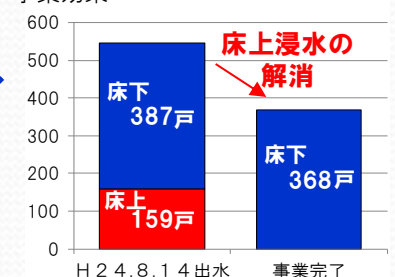
実施内容 : 用地物件補償、護岸工、橋梁工

【平成29年度予定】

実施内容 : 用地物件補償、護岸工、橋梁工



事業効果

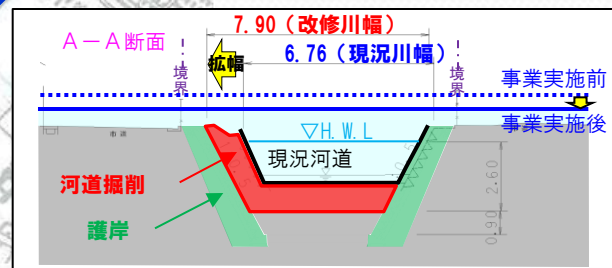


浸水被害状況

出水年月日	浸水戸数(戸)		
	床上	床下	計
H22.8.10	2	7	9
H24.8.14	159	387	546
計	161	394	555

凡例

- 完了
- H29予定
- H30以降
- 他事業



※延べ床上戸数50戸以上、延べ浸水戸数200戸以上

# 京都府の河川整備(治水)

## 天井川対策

平成24年8月南部豪雨による弥陀次郎川の決壊や平成25年9月台風18号による青谷川の堤防侵食を受けて、長期的には天井川の切り下げを目指しつつ、当面は老朽化護岸の改修や水路橋等の耐震対策を実施することにより、天井川の治水安全度を確保する。

### 近年の天井川の被災状況



弥陀次郎川(宇治市)  
平成24年8月南部豪雨



青谷川(城陽市・井手町)  
平成25年9月台風18号

### 対策状況

#### 天井川切下



弥陀次郎川

#### 老朽化護岸改修



青谷川



現況河川

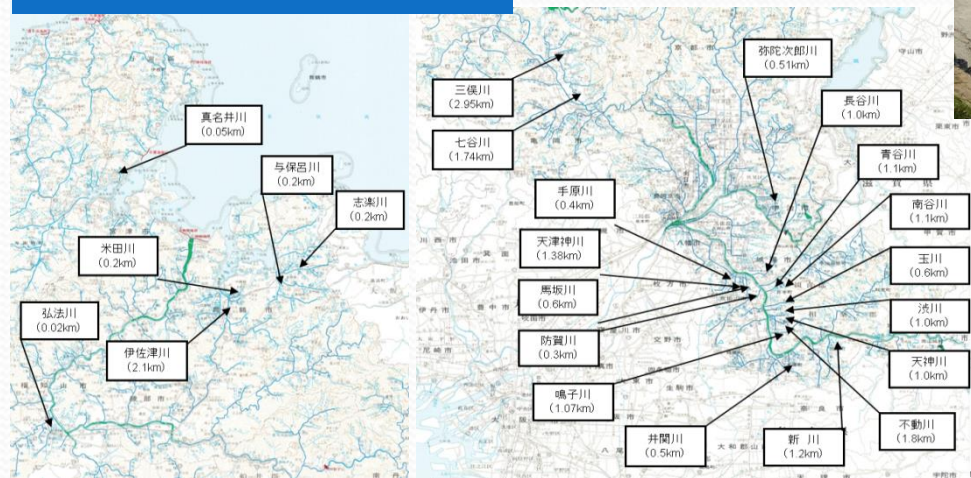
新河川

防賀川



天神川

### 京都府の天井川(23河川)



### 水路橋耐震工事

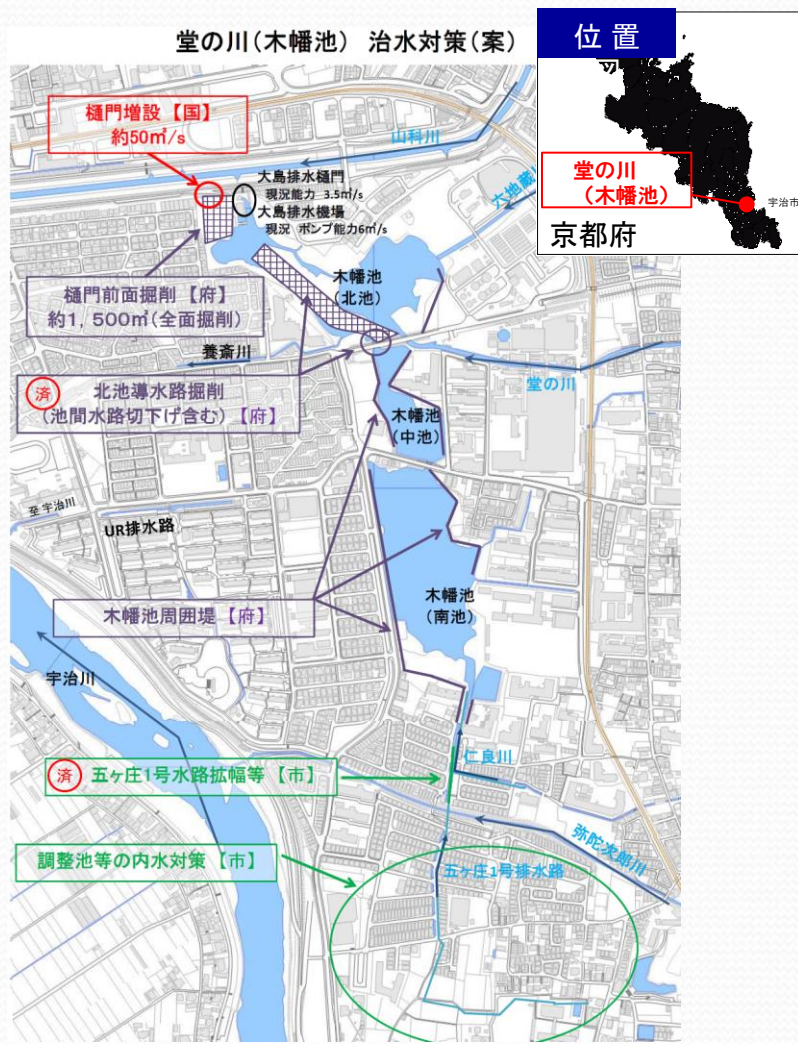


落橋防止装置

長谷川

# 総合的な治水対策の推進

○平成24年京都府南部豪雨では、堂の川（木幡池）流域で時間最大雨量は約45mmの激しい雨となり、床下浸水335戸、床上浸水206戸の合計541戸の家屋浸水被害が発生した。（弥陀次郎川の欠壊の影響含む）  
 ○平成25年の台風18号では、直轄山科川の水位が上昇し、排水樋門を閉鎖しているときに、宇治地点で時間最大雨量32mm、24時間雨量260mmの豪雨となったことから、床下浸水5戸、床上浸水9戸の合計14戸の家屋浸水被害が発生した。  
 ○これらの浸水被害を受け、国、府、宇治市による「堂の川（木幡池）周辺の治水安全度向上に関する3者協議会」を立ち上げ、3者が連携して対策を講じ、浸水被害の軽減・解消を図る（国：大島排水樋門の増設、府：木幡池の北池掘削等、宇治市：支川上流域で貯留施設を検討中）。



## 浸水被害状況



## 整備目標

区分	新たに実施する対策案	整備目標	実施主体
	※木幡池周辺の宅盤高に合わせるため、旧全体計画のH.W.LをO.P.+15.00mからO.P.+14.53mに見直し		
ハード対策	○北池導水路掘削(池間水路切下げ含む) 済 ○樋門前面掘削、築堤等 ※木幡池の治水容量 現況約23万㎡→対策後24万㎡	○1/30確率 ・平成24年8月京都府南部豪雨洪水での浸水被害解消 ・平成25年9月台風18号洪水での床上浸水被害解消	京都府 国
	○樋門増設 ※排水能力約3.5m³/s→約50m³/s		
	○五ヶ庄1号水路拡幅等 L=約190m 済 ○調整池等の内水対策の検討・実施	検討中	宇治市

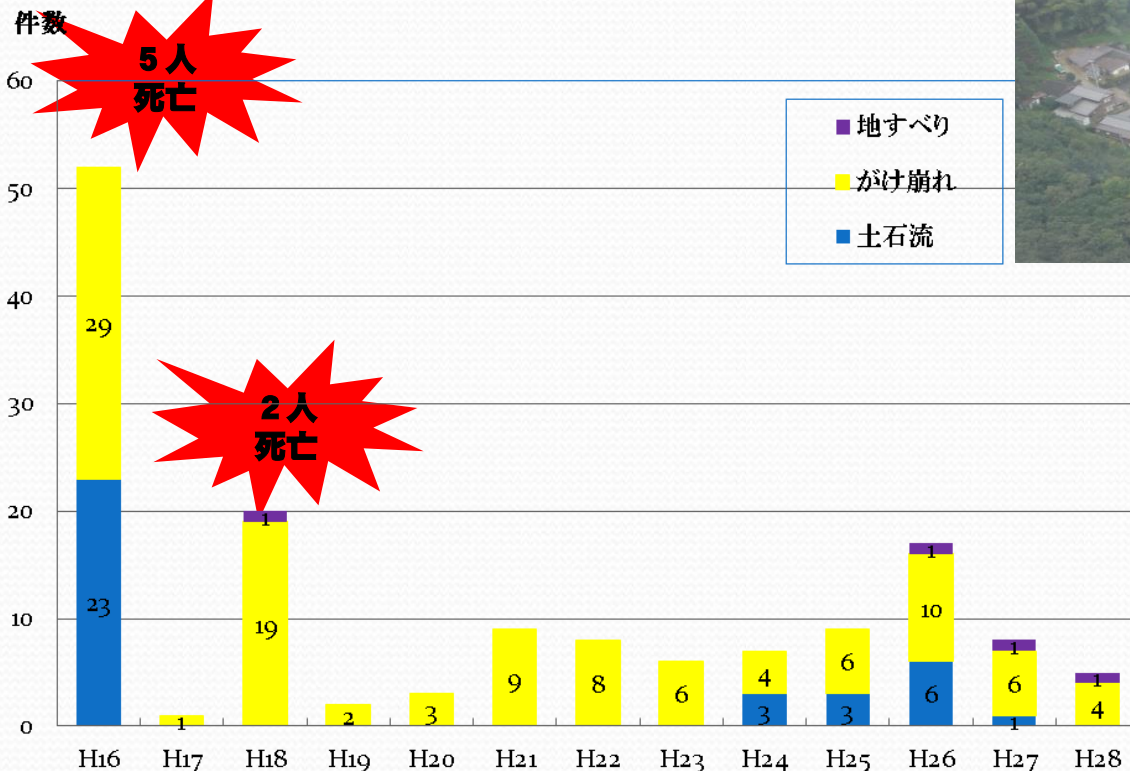
※総合的な治水対策(ソフト対策含む)については、引き続き3者(国、府、宇治市)で検討していく  
8



# 最近の土砂災害の概要

～ 平成16年から28年まで ～

- 京都府では、台風や頻発する集中豪雨等により、毎年のように土砂災害が発生。
- 平成16年10月の台風23号では、土砂災害により **5人が死亡**。
- 平成18年7月の梅雨前線豪雨では、土砂災害により **2人が死亡**。



平成16年 宮津市滝馬地区 (上)

(下) 平成18年 京丹後市間人地区



# 土砂災害危険箇所の整備状況

## ～ 直近10年 ～

- 府内には、**8,847箇所**の土砂災害危険箇所が存在。
- この内、**3,725箇所**をランクⅠと分類して、優先的に対策工を実施。
- 平成28年度末までに**648箇所**の対策工が完了。（整備率：**17.4%**）



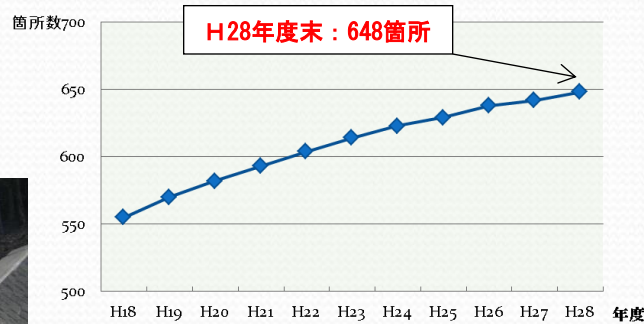
見行谷川：通常砂防事業（伊根町）



地頭：急傾斜地崩壊対策事業（舞鶴市）



中谷川：通常砂防事業（亀岡市）



H28年度末：648箇所

水尾川：通常砂防事業（京都市）



久多：急傾斜地崩壊対策事業（京都市）



※ランクⅠは、保全人家が5戸以上または道路等公共施設、学校、病院等の他、要配慮者利用施設がある危険箇所  
 ※急傾斜地の要対策箇所には、事業導入ができない人工斜面を除く

# 総合的な土砂災害対策の推進

□府内の土砂災害危険箇所の内、**優先的に対策工事を進めていく箇所**（人家5戸以上又は重要な公共施設の保全）は**約3,700箇所**もあり、莫大な費用と時間が必要。

■土砂災害から府民の生命と財産を守るため、砂防えん堤などの防災施設の整備による**ハード対策**と併せて、雨量や危険箇所に関する情報の提供や住民の防災意識向上のための啓発活動などの**ソフト対策**を**総合的に推進**。

## 砂防関係施設の整備と管理 ～ ハード対策 ～

- ◆ 保全対策
  - ・要配慮者利用施設を保全する箇所
  - ・避難所等を保全する箇所
  - ・過去に災害を受けた箇所
  - ・重要交通網(緊急輸送路等)を保全する箇所
  - ・保全人家戸数の多い箇所等を優先的・重点的に整備
- ◆ 砂防関係施設の適切な維持管理

## 防災情報の提供と市町村連携 ～ ソフト対策 ～

- ◆ 土砂災害に関する情報の提供
- ◆ 土砂災害防止法に基づく警戒区域等の指定
- ◆ 警戒避難に関する市町村との連携
- ◆ 府民の防災意識向上のための啓発活動

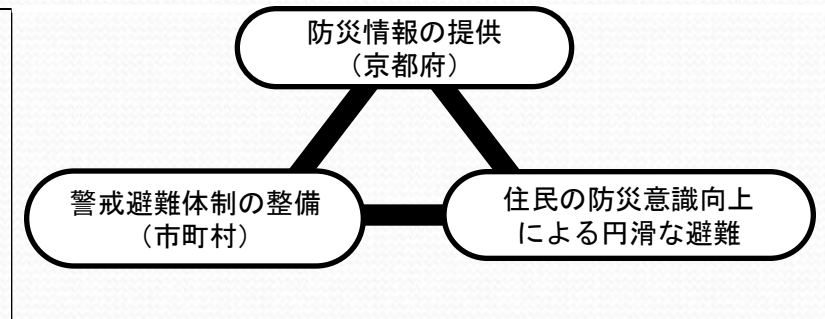
# ソフト対策（洪水・土砂災害への備え）①

## 基本方針

- ◇ 洪水や土砂災害などから府民の生命と財産を守るため、河川・砂防事業等のハード対策と併せて雨量・水位等の防災情報を迅速かつ的確に提供している。
- ◇ 警戒避難体制を整備し、円滑な住民避難に繋げるためには、市町村等との連携や住民の防災意識向上が不可欠である。

## 現状と課題

- ◇ 京都府では、平成16年の台風23号による被害を受け、水位計等の観測機器の整備や防災情報の提供の充実を図ってきた。
- ◇ 気象台、国土交通省等からの防災情報を活用し、京都府と市町村が連携し、水防活動や住民の避難情報の提供など、府民の生命や財産を守ることに努めている。
- ◇ 京都府では、平成16年の台風23号による被害を受け、水位計等の観測機器の整備や、防災情報の提供の充実を図ってきた。
- ◇ 気象台、国土交通省等からの防災情報を活用し、京都府と市町村が連携し、水防活動や住民の避難情報の提供など、府民の生命や財産を守ることに努めている。
- ◇ 平成24年南部豪雨・平成25年台風18号・平成26年8月豪雨など3年連続して被害を受けておりさらなる警戒避難体制の強化が必要であり、防災情報の充実が求められている。



# ソフト対策(洪水・土砂災害への備え)②

## 主要事業の概要(1)

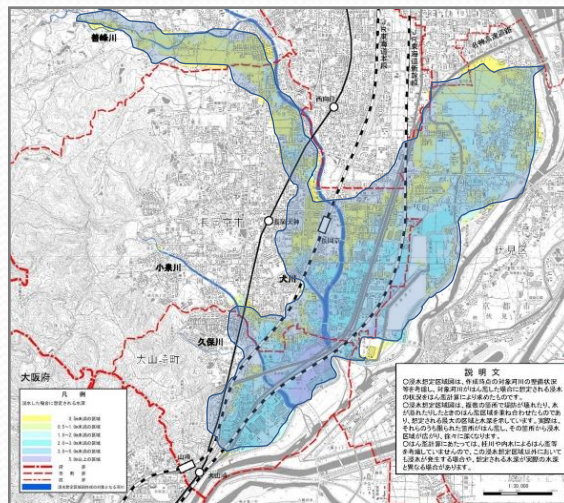
### ■洪水・土砂災害に関するリスク情報の整備、公表

#### 洪水

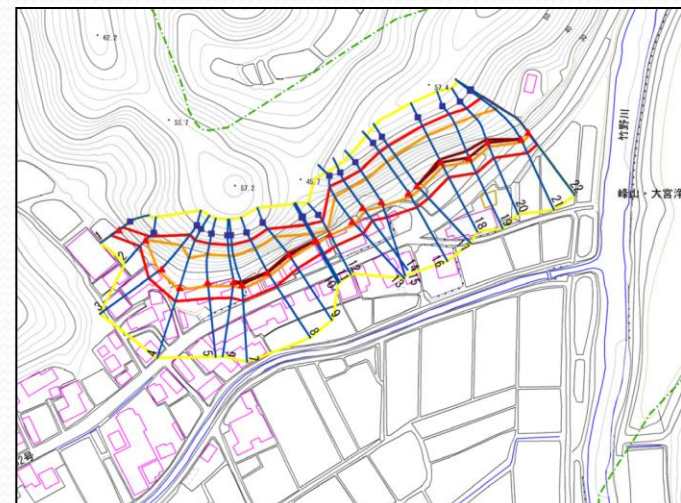
現在125河川で洪水浸水想定区域図を作成・公表している。  
今後、平成27年水防法改正や「災害からの安全な京都づくり条例」(H28.8公布)に  
基づき洪水浸水想定区域図の見直し又は新規作成を行う。

#### 土砂災害

土砂災害防止法に基づき約17,000箇所の基礎調査結果を公表している。  
土砂災害警戒区域等は平成29年度7月末までに約16,650箇所を指定している。  
残り約350箇所の土砂災害警戒区域等の指定を進める。



浸水想定区域図



土砂災害警戒区域、特別警戒区域

# ソフト対策(洪水・土砂災害への備え)③

## 主要事業の概要(2)

### ■リアルタイム情報の提供

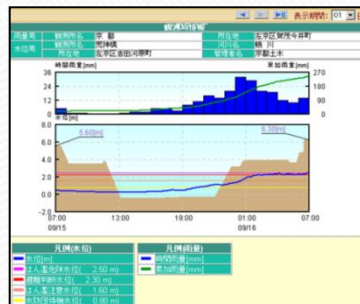
- ◇ 市町村の水防活動や避難勧告等の発令、住民の自主避難の判断等に活用していただくことを目的に雨量・水位・河川防災カメラ画像及び土砂災害警戒情報(土砂災害危険度情報)などをインターネット、地上デジタルデータ放送などさまざまなメディアにより、リアルタイムで提供している。
- ◇ 土砂災害警戒情報の精度向上、洪水に対する雨量による避難判断基準の検討などを実施。

雨量情報



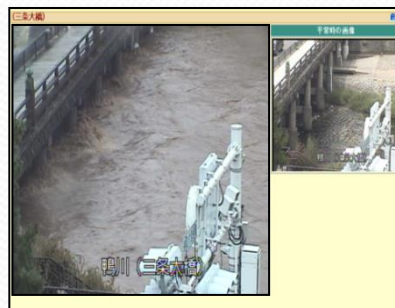
京都府 108箇所  
 国土交通省 21箇所  
 水資源機構 8箇所  
 気象庁 17箇所  
 京都市 38箇所

水位情報



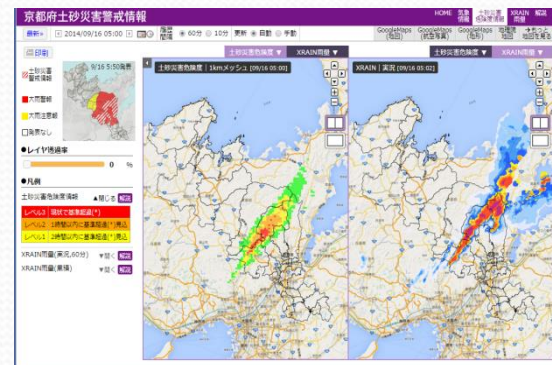
京都府 110箇所  
 国土交通省 31箇所  
 水資源機構 6箇所

河川防災カメラ画像



京都府 70箇所

土砂災害警戒情報



# ソフト対策(洪水・土砂災害への備え)④

## 主要事業の概要(3)

### ■警戒避難に関する市町村との連携

◇ 京都府と市町村が役割分担・連携し、警戒避難体制の強化を図る。

京都府

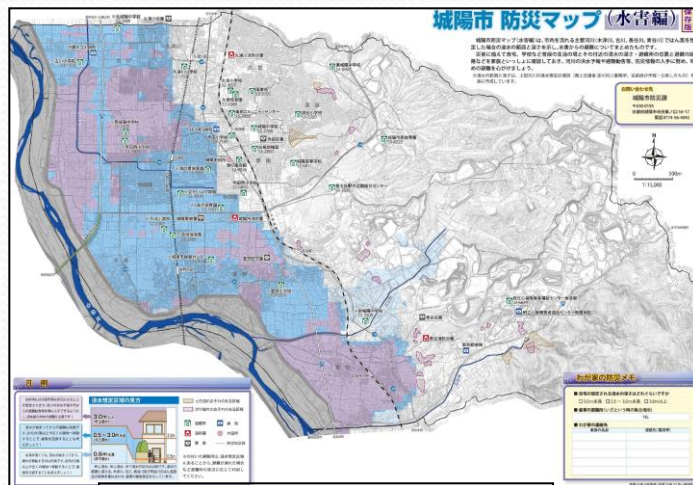
大雨や洪水時に、水防活動支援のための河川水位情報の発表や、住民避難のための土砂災害警戒情報を京都地方气象台と共同して発表している。洪水予報の精度向上、水防警報河川等の追加指定を進める。

市町村

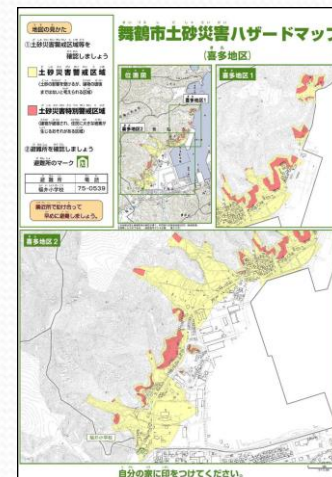
浸水想定区域図や土砂災害警戒区域等をもとに避難に必要な情報を記載したハザードマップを作成し、住民に配布している。河川水位情報、土砂災害警戒情報を受け、避難勧告等の情報を住民に発表している。

水位情報の発信(H29.7.31現在)

種別	指定数
洪水予報	4河川
水位周知河川	34河川
水防警報河川	64河川



洪水ハザードマップ(城陽市資料)



土砂災害ハザードマップ  
(舞鶴市資料)